



廿日市市立佐伯中学校 令和3年度

【自律】学校だより

ホームページ <http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/>

学校教育目標：「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」「みんなの笑顔があふれる居心地のいい」学校づくり！

10月号 (No.7)

令和3年

10月1日 (金)



2学期から感染拡大防止のため、スクールロード下での挨拶を一旦止め、生徒玄関での挨拶運動に切り替えました。生徒玄関での挨拶運動は、すべての生徒のみなさんと挨拶ができるので、とても楽しいです。

生徒玄関での挨拶運動を続けていると、しだいに変化が見られるようになってきました。最初は、私から「おはようございます」と声をかけることがほとんどでしたが、今では、みなさんの方から「おはようございます」と挨拶をしてくれる人が多くなりました。次に「体温は何度だった？」と聞くと、「〇度」と温度だけを伝える人がいましたが、今では、聞かなくても、挨拶の後に、「〇度です」と丁寧に応えてくれる人も多くなりました。生徒玄関で、私が何を求めているのかを察して、「おはようございます」「今日は、何度です。」と言えるのは、一つの学習ですね。

朝のほんの数秒のやりとりですが、様々なことに気づかされます。靴を脱いで、下駄箱に靴を入れる時も、きちんとかかとを揃えていれている人もいますし、ただ靴を入れる人もいます。毎回名札を忘れて、秋田先生に書いてもらっている人もいます。続けて忘れる人は、どんな生活をしているんだろうと疑問に思います。

たかが「挨拶」と思いがちですが、そうではありません。企業は、「挨拶」のできる人を求めています。なぜなら、「挨拶」は、社会で必要なコミュニケーション能力につながるからです。企業は、色々な人が集まって仕事をしています。色々な人と会話をしながら仕事を進めていかなければならないので、コミュニケーション能力が必要となるのです。コミュニケーション能力は「挨拶」をすることで高まります。「おはようございます」「ありがとうございます」「さようなら」などの挨拶がきちんとと言えることは社会に通用する力ですし、挨拶のキャッチボールから、人間関係が作られます。

これは、教頭先生との会話の中での話ですが、『「挨拶」ができてきているという人の中にも、2通りあると。自分から進んで挨拶をする人と、挨拶をされたので挨拶をする人がいる。』そういう意味では、今の佐伯中の状況は、進んで挨拶をする人は、まだまだ少ないと思います。校舎で先生や外部の人に出会った時に、進んで挨拶ができる人は、残念ながら少ないですね。中体連の大会等など、他校の先生や審判をされる外部の方などに、挨拶ができるチームは、日頃から挨拶を意識して取り組んでいるのだと思います。そういうチームに出会うと、心が晴れ晴れしますし、また、そのチームと対戦してみたいくなります。

今、学級委員会の取組で、授業のはじめと終わりの挨拶に取り組んでいますね。授業の最初の挨拶は特に重要です。授業への心構えが挨拶に現れます。ぜひ、みなさんには、いい挨拶ができるように、自分たちの力で取り組んでもらいたいと思います。5秒礼も、一部の人でなく、クラスのみなが声を出したり、もう一步の時は、自分たちで「もう一回します」などやり直しをしたりするようになれば、挨拶を通して、みんなが成長できると思います。

誰かから言われてする「他律」から、自分たちの意思でする「自律」へと意識を高めてもらいたいのです。たかが、「挨拶」ですが、されど「挨拶」です。「挨拶」ひとつで人間性が高められるのです。

生徒会執行部による、「みそあじ」に係るアンケート結果で、進んで挨拶している生徒の割合が増えることを期待しています。

週3回、スクールロード下の信号のところで、地域の方が挨拶運動をしてくださっています。大変ありがたいことです。みなさんも、眠たい日や気の気分がすぐれない日もあるでしょう。そういう時に、地域の方から「おはようございます」と声をかけていただいて、ふっと心が明るくなった経験があると思います。

挨拶運動に参加されている方が、その気持ちを新聞に投稿した記事を紹介します。

【朝の挨拶運動】

私は今、地元の青少年育成団体で、朝の挨拶運動のお手伝いを時々しています。週に3日、地元の中学校の前の交差点にスタッフ5、6人が立って、子どもたちの安全を見守りながら「おはよう。いってらっしゃい」と挨拶をします。晴れの日も雨の日も立ちます。特に極寒の日は大変で、手足や耳が凍りそうになりながら挨拶をします。



ある時、挨拶運動の意味について、先輩にお尋ねしました。すると、「それはよくわからんよ。役に立っているのかどうかも。でも、こうしていると、子どもたちと知り合えるからね。知り合いになれば、ちょっと気にかかるときでも、「大丈夫?」「どうした?」と声を掛けやすくなるんだ」と話してくださいました。お互いの関係は、少しずつ深まるでしょう。また、「そう言えば、最近気がついたが、車で親御さんが送って来る時、交差点を通る際に、親御さんが会釈をしてくれるね。すると、以前は後ろに乗ってるだけだった子が、会釈をしてくれるようになったんよ。親の姿を見とるんだね」とも話してくださいました。スタッフの挨拶が親御さんにつながり、それが子どもにつながったのです。

また、ある先輩は、「私は挨拶運動の朝、スタッフ用のベストを羽織って、家族に「いってくるけーね」と声をかけて出かけるんです。そんな日を繰り返していると、飼っているインコが、私が出かけようとしてベストを着ただけで、「イッテクルケーネ」と言うようになったんですよ」と話してくださいました。挨拶はインコにもつながっているのです。また、それを聞いた方が「言葉に気をつけないといけんね」と言い、みんなで笑いました。<中略>

しかし、先輩は「でも、なかなか、いいことばかりというわけにもいかんからねえ」ともおっしゃっています。挨拶をすれば、いつも全ての子どもが返してくれるとは限りません。みんないろいろな悩みを抱えています。人と会いたくない日もあります。誰とも話したくない時もあるはずです。だから、呼びかけていくのでしょ。【挨拶運動に協力していただいている団体】

地域の方も、みなさんが元気よく学校生活が送れるよう、声をかけてくださっています。自分から挨拶しましょう。喜ばれると思いますよ。

今日は、挨拶について話しました。挨拶はコミュニケーションの第一歩です。挨拶を通して自分を育てていきましょう。

- ・廿日市市青少年育成市民会議佐伯支部
- ・佐伯中学校区地域学校協働本部事業協議会
- ・佐伯地区保護司会
- ・佐伯地区女性会
- ・佐伯地区民生委員児童委員協議会

～佐伯中学校PTAの皆様 秋の全国交通安全運動に係る挨拶運動にご参加いただきましてありがとうございました!～

2学期の主な行事予定

2学期に予定されている大きな行事についてお知らせいたします。新型コロナウイルス感染症の影響で、予定が変更（延期や中止）の可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

- 10月 4日（月）⇒「3年宮島学習」・・・巖島神社、宮島伝統産業会館、宮島水族館など
- 10月 6日（水）⇒「1年校外学習」・・・佐伯国際アーチェリーランドでの体験活動など
- 10月19日（火）⇒「2年修学旅行説明会」・・・16：00～（保護者）
- 10月21日（木）⇒「3年第2回進路説明会」・・・6時間目（生徒）、15：50～（保護者）
- 10月30日（土）⇒「文化祭」・・・午後 ステージ・展示発表、吹奏楽部、美術部など
- 11月 4日（木）⇒「2年体育祭」・・・午後
- 11月 5日（金）⇒「1年体育祭」・・・午後
- 11月 9日（火）⇒「3年体育祭」・・・午後
- 11月15日（月）～17日（水）「2年修学旅行」ハウステンボス、九十九島水族館、大宰府天満宮など
- 11月17日（水）～22日（月）「3年進路懇談」午後

※文化祭及び体育祭の参観は、一家庭あたり2名以内とします。

ただし、直近一週間の人口10万人あたりの新規感染者数が15人以上（ステージⅢ）になった場合は、無観客とします。

表彰

【標語】【入選】(廿日市市青少年育成市民会議)

・岸波美采（3年）矢本修士（2年）

【ボランティア】(廿日市市)

・伊藤千夏、松本美咲、竹本智佳（3年）

生田修也（2年）伊藤颯汰（1年）

【1学期図書貸出冊数入賞者】

・深川祥太郎（2年）大西瑠子（1年）

平下篤人（1年）久保知夏（2年）

小田悠太郎（1年）水野あさひ（1年）

津田市民センター主催行事



学年	氏名	冊数
3年	岸波美采	12
3年	松本美咲	10
3年	竹本智佳	8
2年	大西瑠子	15
2年	久保知夏	12
1年	水野あさひ	10

表彰の様子

